



気をつけよう！感染症（令和7年第7号）

伝染性紅斑に注意しましょう

全国の報告数が過去10年間で最多となっています

予防のポイント

主な感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」です。

○流水や石けんによる手洗いをしましょう。

○せきやくしゃみをする時には「咳エチケット」を心がけましょう。

治療方法は？

特効薬はありません。

発熱などのつらい症状を和らげる対症療法が中心です。

自宅で安静に過ごしましょう。

妊娠中又は妊娠の可能性がある方へ

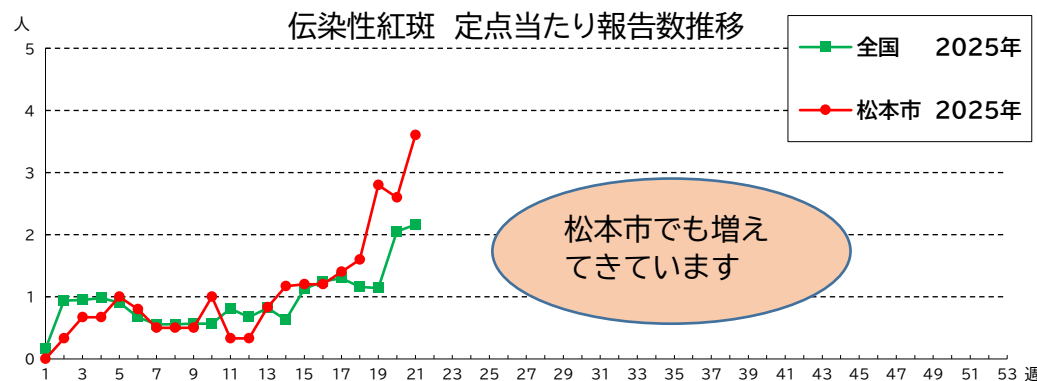
妊娠中（特に妊娠初期）に感染すると、まれに胎児の異常や流産のリスクとなる可能性があります。

伝染性紅斑を疑う症状がある場合は早目に受診しましょう。周りに感染している人がいる場合は、妊婦健診の際に医師に伝えてください。



詳しくはこちら

厚生労働省 伝染性紅斑について



松本市でも増えてきています

伝染性紅斑とは

両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれる小児に多い感染症です。

○潜伏期間 10～20 日

○症 状 微熱、かぜに似た症状（ウイルスの排出が最も多い）



頬がリンゴのように赤くなります（紅斑）

※発しんが現れたときには感染力はほぼありません。

発しんは多くは1週間程度で消失します。